

平成27年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査 結果と考察

1 学力調査の結果

教科	A 教科の内容																	
	関心・意欲・態度			思考・判断・表現			技能			知識・理解			読む					
	東京都	江戸川	本校	東京都	江戸川	本校	東京都	江戸川	本校	東京都	江戸川	本校	東京都	江戸川	本校	東京都	江戸川	本校
国語	58.5	64.5	64.3	56.2	55.7	57.1	34.6	34.1	33.7	66.5	64.1	65.6	66.3	66.3	68.9	58.4	57.7	59.1
社会	74.0	74.8	74.0	56.9	56.3	61.0	49.9	49.8	50.9	52.0	55.8	52.5				54.1	56.0	55.4
数学	89.0	88.9	90.8	30.5	28.8	29.6	61.1	60.2	59.9	61.3	57.2	53.5				58.3	56.6	55.9
理科	89.5	90.3	89.8	46.3	46.6	48.0	59.0	59.8	58.8	51.2	52.4	57.0				55.2	56.0	58.4
英語	75.8	75.3	77.0	26.0	33.5	53.1	73.4	72.2	72.4	61.6	60.9	63.7				64.5	64.4	67.5

教科	B 読み解く力に関する内容												合計正答率 (A+B)		
	取り出す力			読み取る力			解決する力						東京都	江戸川	本校
	東京都	江戸川	本校	東京都	江戸川	本校	東京都	江戸川	本校	東京都	江戸川	本校	東京都	江戸川	本校
国語	31.3	28.3	33.7	34.9	34.7	43.9	25.4	35.9	23.5	30.7	31.8	33.7	54.3	53.8	55.3
社会	52.7	55.7	58.2	46.8	53.1	53.1	41.8	42.0	45.9	47.1	50.2	52.4	52.7	54.8	54.8
数学	69.3	69.7	68.4	41.0	39.8	37.2	46.8	45.9	48.5	52.3	51.8	51.4	57.0	55.6	55.0
理科	46.1	46.4	45.9	28.1	27.9	33.0	37.5	37.0	43.4	35.9	35.8	39.7	50.0	50.6	53.3
英語	66.6	66.1	69.4	34.4	31.6	40.8	24.1	24.0	32.1	41.7	40.5	47.4	59.6	59.3	63.2

「A 教科の内容」においては、昨年はほとんどの項目で東京都、江戸川区の結果より下回った結果であったが、今年度は数学の知識・理解の結果が東京都の結果より8%下回った以外は、ほとんど同じか上回った結果となった。特筆すべきは、英語の「思考・判断・表現」の項目においては東京都の結果が26.0%であるのに対して、本校の結果は53.1%と大変上回っていることである。これは、日ごろからの授業の取り組みの成果であると考察できる。

また、「B 読み解く力に関する内容」においても同様の結果となった

今年度、このような結果になった背景には、授業改善によるところが多い。それまでの授業形態を見直し、「コの字型の机配置」「4人組での学びあい」を今年度から完全実施し、教師も授業展開の工夫やICT機器を積極的に活用した授業を行った結果であるといえる。

この結果を持続させるための具体的な方策として

- 1 授業の目標を明確にし、目標を達成させるために分かり易い授業展開を工夫するとともに、発展的な課題を提示したりして学習意欲を喚起する。
- 2 教材や資料を効果的に活用するだけでなく、視覚的にも効果がある電子黒板などを積極的に活用する。(活用方法の研修会の実施)
- 3 ワークシートの工夫や自己評価カードなどを用い、生徒の学習状況を正確に把握する。(評価の研修会実施)
- 4 家庭学習の取り組ませ方の工夫と改善(「家庭学習のススメ」の定期刊行) ※「家庭学習のススメ」とは進路部が発行している学習通信である。